

2025年9月10日

## 2025年8月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

### <印刷用紙 A>

平判は学参・金融・文具関連を中心に動きがみられるも昨年を下回る販売量となった。

巻取についても学参、生損保、金融の動きが鈍く、前年を下回った。

（前年比 平判 91.1% 巻取 89.5%）

再生紙平判は役所、官公庁関連の入札案件の受注増加がみられ、前年を大きく上回った。

巻取も広報誌関係の定期案件に加え、入札案件が堅調に推移し、前年を上回った。

（前年比 再生上質平判 137.0% 再生上質巻取 104.8% 再生上質計 117.4%）

（前年比 印刷用紙 A 全体 90.8%）

### <A2 コート>

平判は、各種イベントや大学関連のパンフレット等で一部動きがみられたが、不動産、教育関連チラシ、製菓等で目立った動きが無かった。また雑誌関連の低迷、商印関連の電子化等の影響は続いており、グロス、マット共に前年を下回った。

巻取は、不動産関連のチラシや商印関連印刷物の落ち込みが続いているが、イベント関連の印刷物の動きがあり、グロスは大幅に下回ったが、マットは大幅に上回った。

（前年比 平判 94.8% 巻取 100.0% 全体 95.7%）

### <A3 コート>

ドラッグストアやスーパー、食品デリバリー、学習塾関連チラシの動きが悪く、目立ったスポットも無かった為、平判、巻取共に前年を下回った。

（前年比 平判 81.0% 巻取 87.6% 全体 85.4%）

### <ノーカーボン紙>

巻取は歳末商戦申込書の数量減、生損保窓販帳票の減少で大幅減。平判も生損保案件で目立った動きがなく、巻平共に大幅に前年を下回った。

（前年比 平判 84.4% 巻取 74.9%）

### <上質フォーム>

夏場の閑散期で自治体案件は少なく、また生保系DMの動きも芳しくなかった。民間の資格試験案件などで動きはあったものの前年を下回った。

（前年比 93.7%）

<包装用紙>

特殊両更は役所向け封筒等で堅調な動きを見せ昨年を上回ったが、その他銘柄に関しては全般的に動きが鈍く昨年を下回った。

純白ロールは大型商業施設やスーパーマーケット向けの包装紙が堅調で、昨年を上回った。

包装紙全体では82.6%と昨年を大きく下回った。

(前年比 82.6%)

<板紙>

コートボールは食品値上げによる購買力低下、猛暑による外出の減少も影響し前年を大きく下回る。

特板は一部で仮需が有り、医薬品・化粧品で動きが有るも前年を若干下回る。

高板は依然出版での需要は厳しい状況であり、トレーディングカード需要が堅調な部分もあるが前年を下回る。

チップボールは出版用途での落ち込みが続き低調であった。貼箱・エンタメ系のスポット案件も振るわず前年を大きく下回る。

(前年比 92.7%)